



地域と医療のコラボレーション

第28号  
May  
2014

# ハモニー

Harmony

発行/ 医療法人社団協友会 東大宮総合病院  
編集/ 広報委員会  
〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18  
TEL.048-684-7111 FAX.048-686-3614  
<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

## 電子カルテの導入

診療部長

神田大輔

新

病院移転を来年に控え、新病院のビジョンである「質の高い専門医療を、質の高い管理の下に提供し、質の高い患者満足を得ること」を目指し、当院では2月より電子カルテを導入致しました。

質

の高い専門医療を提供するためには、医療スタッフの情報共有は欠かせません。看護師や医療スタッフ、患者さんのベッドサイドで電子カルテ端末にバイタルサイン（血圧、脈拍、体温など）や投薬内容、栄養状態、リハビリの状況など最新の情報を入力し、全職種がいつでもリアルタイムで状態を把握することが可能になりました。感染対策チーム、栄養サポートチーム、口腔ケアチーム、呼吸サポートチーム、糖尿病療養チーム、緩和ケアチームなど、院内ではたくさんの職種共同チームが活動しています。より質の高い医療を支えるためには、これらのチーム医療は不可欠であり、他職種間のスムーズな情報共有ツールとしての電子カルテはとても重要な役割を担っています。

ま

た、病院の医療安全推進の取り組みの一環として、電子カルテの情報共有、ヒューマンエラー防止策・チェック機構の効果も期待されます。さらに、近隣の病院やクリニックの先生方との医療連携においても、電子カルテによる迅速な情報提供が可能になっています。

まだ導入後間もないことから、大変ご不便をお掛けしております。今後は、従来の紙カルテから電子カルテへの移行が進むことで、外来待ち時間の短縮、会計時間の短縮にも繋げていき、皆さまの利便性向上にも役立てたいと考えております。



診療科だより

# リハビリテーション科



リハビリテーション科 医師 一恵 見 鶴

今年度よりリハビリテーション科は医師1名、理学療法士36名、作業療法士16名、言語聴覚士5名の計57名体制となりました。当科では急性期の他、退院後の維持期における訪問リハビリテーションも実施しています。また麻痺による痙縮(筋のつっぱり・痛み)のある方に対し、ボトックス注射も実施しています。検査では、装具診(義足や装具の作製・修理)と二種類の嚥下障害(飲み込みの障害)検査がありますが、今回は嚥下障害検査についてご紹介します。

## 嚥下障害検査とは

嚥下(飲み込み)するという行為は生きていく上で最も基本的、かつ大切なものであり、日常生活でも大きな位置を占めています。脳血管障害を始めとし

た、様々な疾患で嚥下障害をきたしますが、特に高齢に伴う疾患(認知症もこれに含まれます)が多く、高齢者では嚥下障害がきっかけで、低栄養状態となり、筋力低下や免疫力の低下などが起こり、寝たきりになってしまふ危険性が高くなります。また嚥下障害があると、食物が気管に入り窒息を起こすことがあります。さらに肺炎も起こしてしまうことがあるため、嚥下障害の有無について知ることはとても重要です。当院では二種類の検査を実施しています。



## 嚥下造影検査 (VF: video fluorography)

VFは、バリウムを混ぜた模擬食品を食べる時の、飲み込みの状態をビデオ透視画像で記録する検査です。バリウムを用いているため、食品が口の中に入り、喉を通過して食道に到達する様子について、透視画像を通して観察することができます。また、誤嚥を観察することも可能です。この検査では食品を食べてもらうだけなので、基本的に検査中の苦痛はありません。

▼嚥下造影検査の様子



透視画像で飲み込んだ瞬間を確認しています。



## 嚥下内視鏡検査 (VE: video endoscopy)

今年度より当科で新しく開始した検査です。どの鼻用の内視鏡を鼻から入れ、嚥下の状態を観察する検査です。内視鏡に麻酔のための塗り薬を使用しますが、それでも鼻の中を通過する時には違和感を生じることがあります。しかし鼻の中を通過してしまえば苦痛はほとんどありません。VEは食事の中の様子を直接内視鏡で見ながら観察することができます。



▲嚥下内視鏡カメラ

VF・VEどちらも外来で実施可能です。患者さまの状態に合わせ、適切な検査を行います。嚥下障害検査について、お気軽にご相談ください。

えんぴつより細いのです!



《リハビリテーション科》 鶴見医師の診察  
毎週 木曜日 午後・金曜日 午前



## 第51回 埼玉県医学会総会



### 副院長 風間 博正

平成26年2月23日(日)、埼玉県県民健康センターにて、埼玉県医学会総会が開催されました。この医学会総会は埼玉県にある医療施設の医師が、自分の専門分野に関する日頃の研究成果を発表する場です。発表者も内科、外科をはじめ、幅広い診療科の医師が参加します。近隣の医療施設の興味深い症例報告や研究成果の発表を聞き、勉強になるとともに、病診連携も深まり、色々な意味で非常に良い刺激となります。医療の質を向上させるために、我々医師にとって日々の臨床経験と学会発表、論文作成は不可欠です。そのため、当院の医師たちも毎年積極的に参加し発表をしています。

当院からは、各診療科から11演題を発表し、3演題は、研修医による発表でした。研修医たちは、公の場ではじめて発表ということもあり、多くの論文を読み、指導医に確認してもらいながら何度もリハーサルをして

臨みました。今回の発表経験は、彼らにとっても大変良い勉強になったのではないのでしょうか。

学会での発表後は、論文としてまとめ、埼玉県医学会雑誌に掲載される予定です。臨床で学んだことを論文という形に残すことで、医療全体に、最終的には臨床現場に還元できます。今後も東大宮総合病院は、色々な学会に積極的に参加をして、医療の質の向上に努めて参ります。

演題名	発表者
当院における上部尿路結石に対する体外衝撃波結石破碎の臨床的検討	飯泉 達夫
関節リウマチの経過中に汎血球減少症を呈し、プログラフが奏功した1例	松岡 浩
慢性関節リウマチの合併が示唆された器質化肺炎の1例	岩崎 正
当院における慢性硬膜下血腫の手術症例の検討	中澤 克彦
診断、治療に難渋したc-ANCA陽性、コレステロール塞栓の1例	池田 佳広
末期肝細胞癌による病的骨折に対して、大腿骨近位全置換術を施行した1例	廣瀬 純成
肝癌に対する腹腔鏡下肝切除	菊川 利奈
好酸球性腸炎：慢性下痢を呈した1例と反復した小腸イレウスを来す1例	江川 優子
治療に苦慮した結膜異物の1例	浜野 茂樹 (研修医)
高ガストリン血症を伴う胃カルチノイドの1例	秦 由季恵 (研修医)
発熱を主訴に内科で診断し得た化膿性脊椎炎の3例	山崎 暁司 (研修医)

## 平成26年度 新入職員

今年度は51名の新入職員(臨床研修医3名、薬剤師1名、放射線技師1名、検査技師1名、理学療法士6名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、臨床工学技師3名、看護部30名、医療支援部4名)が研修を経て、各業務にあたっております。まだまだ未熟な新入職員ですが、東大宮総合病院の一員となって頑張りますので、よろしくお願い致します。



## 新病院プロジェクト

### 新病院の建築が進んでいます！

平成27年7月の開院を目指し、新病院の建築が進んでいます。昨年11月に地鎮祭を無事におえ、基礎躯体・免震工事に取り掛かっています。週2回、各部門・部署の会議を設け、レイ



新病院プロジェクト特設HP

アウトの確認や内装の検討などを行っています。6月からは地上躯体工事が始まり、内装はまだですが、年内には建物全体ができる予定です。



基礎躯体工事がほぼ完了しました

### ユニフォームが変わりました！



4月よりユニフォームの色が変わり、看護師は臙脂(えんじ)色、技師(士)は紺色、薬剤師は白色となりました。しばらくの間は今までの「白衣」のイメージと異なり、違和感があると思いますが、職員一同、新たなユニフォームで気を引き締め、業務に取り組んで参ります。

### クールビズを実施します！



(予定期間:5月12日~10月末)

当院では節電対策として、事務職員のクールビズ(ノーネクタイ、ポロシャツ)を実施します。また、病院内28℃空調設定のご理解ご協力をお願い致します。

## 当院 数字アラカルト

平成25年度は、8月に救急科専門医(岩田医長)の招聘による救急科新設により、一昨年度からの継続取組み目標となっていた、救急医療提供体制が整いました。これにより、断らない救急医療の実践や近隣の医療機関からの紹介患者の救急受入要請にも対応可能となり、救急受入れ件数は930件増の4,406件(前年比26.8%増)でした。地域へは、二次救急としての当院の役割を果たせるようになったと自負しております。また、地域基幹病院として一般急性期患者を受入れるために、8月末には回復期リハビリテーション病棟を一般病棟(急性期)へ変更致しました。これを機に救急受入れと併せ、緩和ケアの患者さまの積極的な受入れも行っています。人間ドックや検診で要望の多い内視鏡検査の充実を図るため、3室体制で実施できるよう、内視鏡センターを拡大したことにより、検査待ち日数が改善されました。

今年度は来年夏に完成する新病院に向け、地域オンリーワンの病院を目指し、組織構築や連携、医療サービスの向上を図って参ります。

外来患者数	702.6人/日
入院患者数	275.8人/日
在院日数	15.8日
ベッド稼働率	87.3%
救急件数	367.0件/月
手術件数(全麻・腰麻)	87.0件/月
心臓カテーテル検査件数	26.0件/月
内視鏡件数	759.0件/月

◆平成25年4月~平成26年3月平均◆

### 編集後記

今年度は「地域最強の病院づくり~地域オンリーワン(only one)の病院を目指そう~」を目標に、救急のさらなる増強やがん診療の重点的強化、医療サービスの向上に職員一丸となって、取り組んで参ります。



医療法人社団協友会

## 東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18  
TEL.048-684-7111 FAX.048-686-3614

東大宮総合病院

検索



JR宇都宮線「東大宮」駅下車 東口より徒歩3分